

## さのびでまなぶ

## 注目のイベント

※諸事情により変更や中止の場合があります。

講演会  
「小原古邨  
—光と雨の系譜—」

小原古邨研究の第一人者を講師に迎え、なご  
多き古邨の生涯や画業に迫り、作品の魅力を  
お話いただきます。

日 程：10／1(土) 14:00～15:30  
講 師：小池満紀子  
(中外産業株式会社原安三郎コレクション担当、  
国際浮世絵学会常任理事)

会 場：佐野美術館講堂  
定 員：30名  
聴講料：500円  
※要申込、先着順



## サマーリースをつくろう

イメージ



木製のリースに、グルーガンでビーズや貝殻を  
飾り付け、夏用のさわやかなミニリースをつくり  
ます。

日 程：7/9(土)、16(土)、23(土)、30(土)、  
8/6(土)、13(土)、20(土)、27(土)  
10:00～15:00(最終受付)

会 場：佐野美術館1階ロビー  
参加費：400円(1個)  
※申込不要・入館券不要・随時参加可能

## その他のイベント

2022.7-9

あべ弘士の絵本と美術 会期中

●7/2(土) あべ弘士さん来館記念イベント

小原古邨 会期中

●9/17(土)、10/22(土) 学芸員のミニギャラリートーク  
●10/15(土) 古邨を飾るミニ屏風をつくります

## 常設展示室

**新収蔵品のご紹介** 近年ご寄贈いただき、コレクションに加わった刀剣をご紹介します。

第一期【7/2(土)ー8/28(日)】

- 短刀 銘 国吉 鎌倉時代
- 重要美術品 太刀 銘 吉房 鎌倉時代
- 重要美術品 太刀 銘 吉用 鎌倉時代
- 重要美術品 短刀 銘 保昌貞宗作 鎌倉時代



重要美術品 短刀 銘 保昌貞宗作

第二期【9/3(土)ー12/18(日)】

- 刀 銘 上総介藤原兼重 江戸時代
- 脇指 銘 肥前国住武蔵大掾藤原忠広／寛永五年戊辰二月吉祥日  
鍋嶋家中 神代民部少輔内小田治郎左衛門尉貞次 江戸時代(1628)
- 刀 銘 筑前守信秀／慶応二年六月日 江戸時代(1866)
- 刀 銘 播磨国住高見太郎国一作／為豆州佐野美術館改築  
泉州徳平家協賛平成十五年錦秋求之 平成15年(2003)

## NEWS

## 登録有形文化財「隆泉苑」改修

## クラウドファンディングのお知らせ

佐野美術館のランドマークとも言える隆泉苑は、美術館の創立者である佐野隆一が昭和初期に両親の隠居所として築造しました。吟味された材料と当時の技術の粋を集めた純日本建築で、2000坪を越す回遊式庭園を備えており、来館者のみならず、地元の皆様に市街地のオアシスとして親しまれています。

しかしながら、築約90年の年月がこの建物にかなりの傷みを生じさせています。

そこで、佐野美術館では、国の登録有形文化財である、隆泉苑を未来に残していく



佐野美術館・隆泉苑 現在の様子

ため大規模修繕を行うことといたしました。ただ、美術館の財源不足は否めず、2022年度よりおよそ5,900万円を3期に分け、クラウドファンディングによる資金調達を計画しております。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

**第1期(募集終了):5/10(火)ー6/30(木)**  
**第2期、第3期の実施時期が決まりましたらホームページ等にて告知します**

## 連載 其の四十五

渡邊妙子理事長の

ひとこと  
いいかしら？

## 原安三郎と佐野美術館

原安三郎氏(元日本化薬(株)社長)は、昭和41年11月10日、(財)佐野美術館の開館式典に当館理事長として挨拶をなされた。博識で温かな方、御左足をゆつくりと動かしながら階段を上られたお姿が、私の胸中には忘れ得ぬ強い印象となっている。

氏の父親は、徳島の元大名蜂須賀家の普請方を勤め、漢学に通じ、書をよくした。息子の不自由な体を心配し、五歳から、父は四書五経、孟子、春秋などを教えた。小学校は無事卒業し、中学に入学、体操ができない故と、退学させられた。その時、海軍大将で当時文部大臣樺山資紀が徳島へ教育視察に来る。安三郎はこの情報を新聞で知り、親に内緒で樺山大臣に会うべく、旅館から出るところに待ち伏せ、大臣は馬車に彼を乗せてくれた。彼は、中学校を退学させられたこと、体が悪くても頭脳を使って勉強し、国家のために働くことが出来る、それを退学させるのは国家のために損失である、訴えたという。

翌年から体操課目を課さなくてもよい、と改革された。彼は早稲田大学に入学、成績は一番で卒業。実業界での仕事を希望し、三井物産(株)常務取締役の山本条太郎氏との縁が彼の生涯への道を開いてくれた。

安三郎氏は幼くして、人の心をよく汲み取り、会社や社会の仕組みを読み取り、激動の社会の中で会社の統廃合に尽力し、氏の並外れた人間愛にどれほど多くの救われた人々がいたことだろう、と思われる。

昭和52年5月29日、佐野隆一翁の枕元に、畏友を悼む「理知に長け事業固く護りたる業界の友分かる悲しさ」と原安三郎謹書の短冊が供えられた。

## INFORMATION

## さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、三島信用金庫が100周年記念事業の一環として開設しました。佐野美術館が運営を委託されたギャラリーです。

さんしんギャラリー善は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休館しております。今後につきましては、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた段階で再開に向けた準備に着手し、再開時期が決定いたしましたら改めてご案内いたします。関係各所の皆さまにはご迷惑、ご心配をおかけいたしますが、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最新情報は、さんしんギャラリー善のホームページをご覧ください。  
▶ <https://www.sanshin-zen.jp/>

さんしんギャラリー善 休館中のお問い合わせ：  
佐野美術館 〒411-0838 静岡県三島市中田町 1-43 TEL 055-975-7278

開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)  
休 館 日：木曜日(祝日の場合は開館)／  
展示替期間(6/27-7/1、8/29-9/2)／  
年末年始

**交通案内**  
JR三島駅南口より  
・南へ1.3km左側  
・東海バス(4番のりば：大平庫行き)で「佐野美術館」下車  
・伊豆箱根鉄道に乗換え「三島田町駅」下車徒歩5分  
**東名沼津I.C.より**  
・伊豆箱根方面へ8km、三島玉川交差点を左折、二つ目信号を右折、次の角左折  
**東名裾野I.C.より**  
・南へ13km  
**新東名長泉沼津I.C.より**  
・伊豆箱根方面へ10km

※駐車場あり。駐車場混雑時には三島市営駐車場(有料)をご利用ください。